



比田地区のイチオシ!

まちの
タカラ

連携の一助を目指して
～比田名所めぐり～



▲ほこらに祭られた玉鋼。普段は公開されていないため、貴重な体験となりました。
◀たたら製鉄で生成された巨大な鉄塊「鋳」を眺める参加者。同行した和鋼博物館の荒川研究員の解説を聞きながら巡ります。

日本遺産「出雲國たたら風土記」の構成文化財となっている金屋子神社や西比田の町なみ、仁多郡周辺で一宮と呼ばれ親しまれている比太神社、巨大な磐座に圧倒される磐船神社などがある比田地区。ここではそんな歴史ある土地に親しんでほしいと、比田小学校の教職員を対象に、市観光協会 広瀬支部比田分会と比田交流センターが中心となって「比田名所めぐり」を行っています。

比田名所めぐりが始まったのは平成28年度。中山間地域では特に、学校など各種機関と地域の連携が不可欠であるという考えから、当時の比田小学校校長と比田分会の渡邊憲治会長とのやりとりを経て開催されるようになりました。

今年度はコロナ禍のため2年ぶりの開催に。7月26日に、8人の教職員らが市原たら、金屋子神社・神話民俗館、常福寺を訪れました。また、一部児童宅周辺も経路に組み込まれました。比田交流センターの上田富教館長は「児童宅近くを通りかかると、児童やその家族の多くがあいさつに出てきてくださるような、関わりを密にできる地域性があります。異動のスパンが短い教職員の皆さんにも、こうした機会を通じて地域になじんでもらえればと思います」と比田めぐりへの思いを話していました。

編集後記

▼幸盛マラソンでは今年度2回目となる月山登山となりました。取材するイベントによつてはかなり動くこともあるので、自信を持って挑んでみましたが、整備された山でも登るといふ動作は通常の運動と違った大変さがありますね。元気に登っていく子どもたちを見送りながら休憩しつつ景色を楽しみました(岩)
▼新たな文化や芸術を生み出しながら開館から5年を迎えたアルテピア。市の文化振興の拠点となっています。「市民の皆さんが新たな文化活動の企画を思いついたときには、相談してもらえらる文化の総合窓口になりたい」と久保田館長は言います。地域の文化活動のプロデューサーとして今後も期待しています(二)

安来市の人口と世帯数 R4.9.30現在

人口合計 / 36,552人
(男:17,585人 女:18,967人)
世帯数 / 14,287世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等については、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。